



# 音波式ベルト張力計

# U-550 アプリケーションソフトウェア 取扱説明書

U-550アプリケーションソフトウェアは、  
ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社のホームページ (<http://www.unitta.co.jp/>)  
トップ画面 **SUPPORT** の、U-550アプリケーションソフトウェアダウンロードより  
ダウンロードして、ご使用ください。

対応OS:日本語版 Microsoft Windows 8/10

## 目次

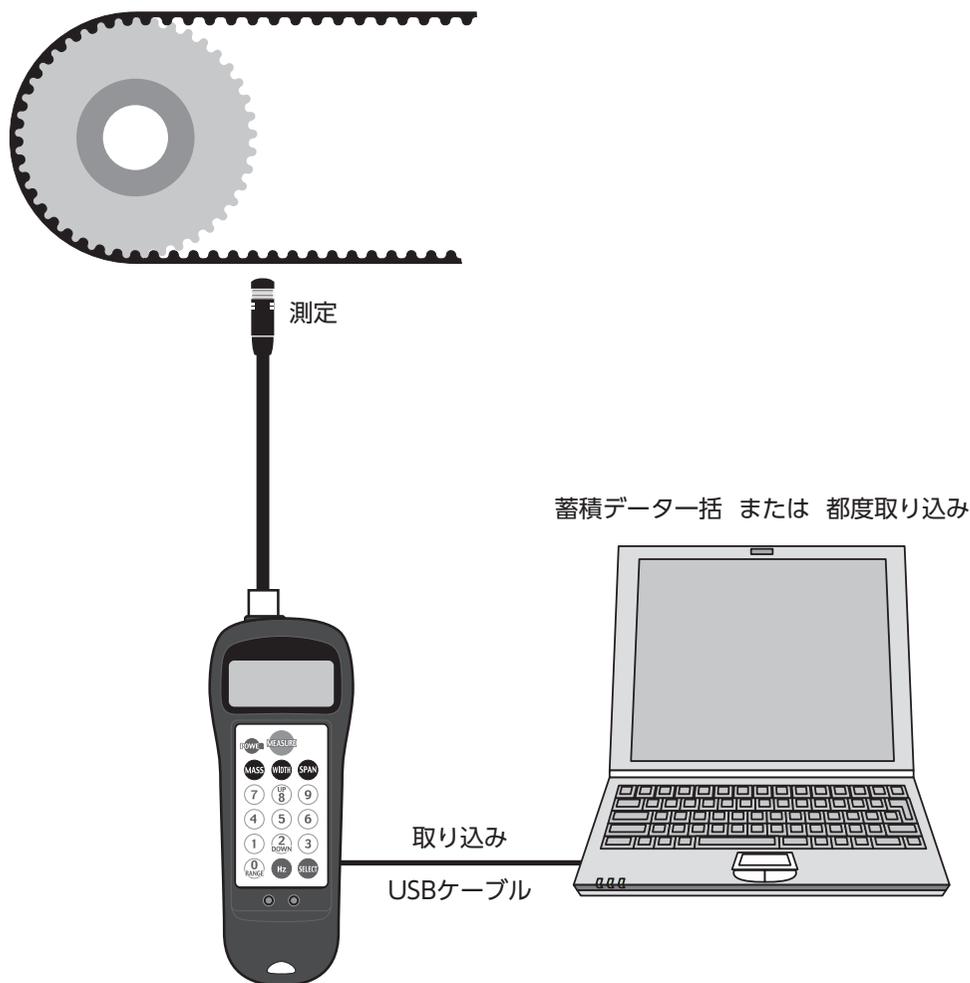
1.概要	1	3.3.1 画面説明	5
1.1 動作環境	1	3.4 データ関連画面	6
1.2 インストール	1	3.4.1 画面説明	6
2.プログラム機能一覧	2	4.USTMメイン画面	7
3.U550アプリケーション メイン画面	3	4.1 メイン画面	7
3.1 メイン画面	3	4.1.1 メイン画面説明	7
3.1.1 画面説明	3	4.1.2 測定結果表示エリア説明	8
3.1.2 測定結果表示エリア説明	4	5.パラメータ設定 メイン画面	9
3.2 判定設定画面	5	5.1 メイン画面	9
3.2.1 画面説明	5	5.1.1 メイン画面説明	9
3.3 時計関連画面	5	5.1.2 パラメータ設定エリア説明	10

# 1.概要

本仕様書は、U-550 PCアプリケーションの機能概要について記述します。

本アプリケーションを使用すると、音波式張力計U-550に蓄積した測定データをパーソナルコンピュータ(以下PCと略す)に一括取り込みすることができます。

また、U-507D測定データ受信ソフトの機能(測定したデータを都度PCに取り込む機能)を「USTMエミュレート」として踏襲しています。



## 1-1 動作環境

- ・x86 プロセッサ ・x64 プロセッサ
- ・日本語版 Microsoft Windows 8/10

## 1-2 インストール

- ・セットアップディスクの"Setup.exe"を実行します。
- ・その後画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

## 2.プログラム機能一覧

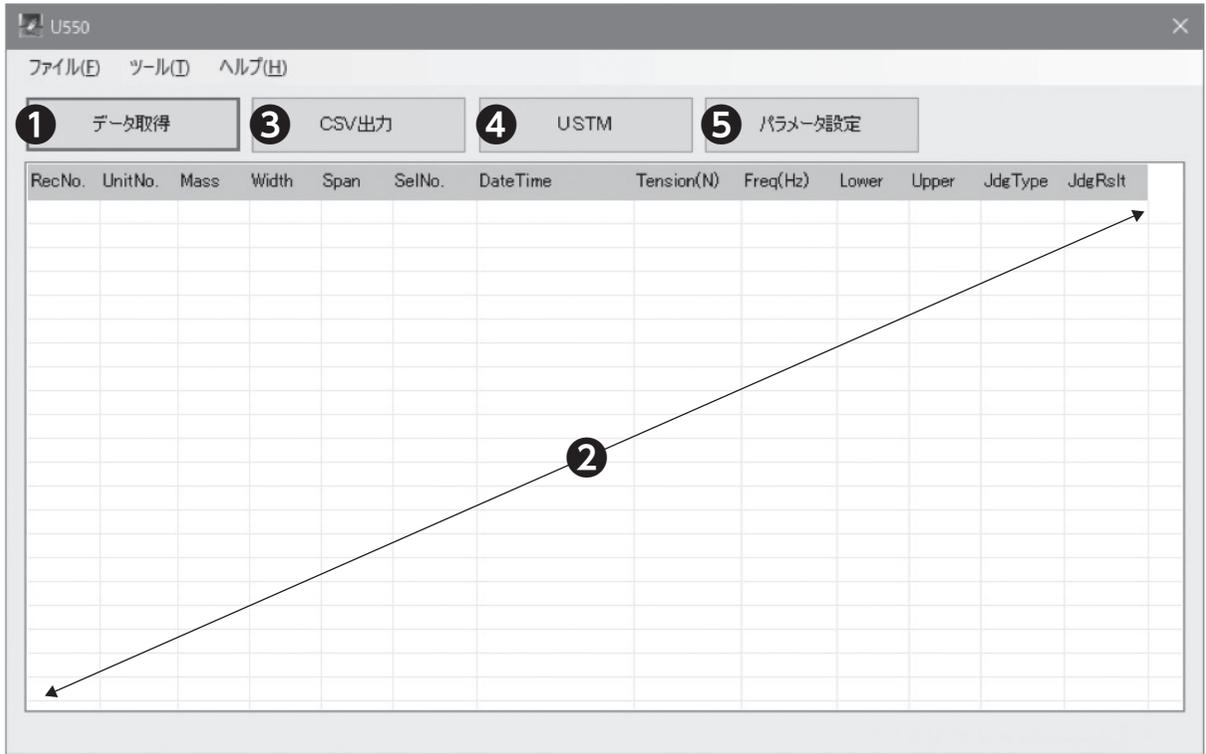
U-550アプリケーションの機能一覧を以下に示します。

機能	概要
測定結果読込	U-550端末に保持されている測定結果を読み込み画面に表示します。
測定結果CSV出力	読み込んだ測定結果をCSV形式のファイルに出力します。
時刻設定機能	端末内蔵RTCに時刻を設定します。
上下限值設定	端末に測定データを判定するための上下限值を設定します。 ※端末はこの値を使用し、測定したデータ(張力または周波数)を判定します。
測定結果クリア	端末に保持されている測定結果をすべて削除します。
USTMエミュレート	USTM(U-507 Sound Wave Style Tension Merer)と同等の機能。 ※USTMの機能についてはUSTMのマニュアルをご参照ください。
パラメータ設定機能	端末のパラメータ値を設定する。

# 3.U-550アプリケーション メイン画面

## 3.1 メイン画面

プログラムを起動すると以下の画面が表示されます。



### 3.1.1 画面説明

No.	説明
①	「データ取得」ボタン USBケーブルで接続されているU-550より、保持されている測定結果を取得します。(取得できる件数の最大は500件)
②	「測定結果表示エリア」 測定結果を表示します。表示内容についてはP.4(3.1.2)をご参照ください。
③	「CSV出力」ボタン ②に表示されている測定結果をCSV形式のファイルに保存します。
④	「USTM」ボタン USTMエミュレーションを起動します。
⑤	「パラメータ設定」ボタン パラメータ設定画面を開きます。

### 3.1.2 測定結果表示エリア説明

RecNo.	データの記録番号(1からの連番)
UnitNo.	U-550に記録する端末識別番号 ※現状は未使用のため常に「1」が表示されます。
Mass	測定時の単位重量(gf/mm)
Width	測定時のベルト幅(mm/R)
Span	測定時のスパン長(mm)
SelNo.	測定時に端末で選択されていたSel番号(0~39)
DateTime	測定時の時刻(yy/mm/dd hh:MM:ss)
Tension(N)	測定した張力値
Freq(Hz)	測定した周波数
Lower	測定時に判定した下限値
Upper	測定時に判定した上限値
JdgType	測定時の判定タイプ(N:張力値 Hz:周波数 --:判定なし)
JdgRslt	判定時の判定結果(GOOD/HIGH/LOW,----:判定なし)

## 3.2 判定設定画面

メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、タブの「判定設定」を選択することで表示されます。

オプション

判定設定 | 時計関連 | データ関連

判定しない    SeNo.    8    ②

①  張力で判定    上限値    120.000    ③

周波数で判定    下限値    80.000    ③

判定データ配信 ④

閉じる

### 3.2.1 画面説明

No.	説明
①	ラジオボタンで測定結果の判定タイプを設定します。
②	パラメータ番号(0~39)を選択します。
③	判定時の上限値・下限値を設定します。
④	「判定データ配信」ボタン U-550に測定結果の判定情報を設定します。

## 3.3 時計関連画面

メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、タブの「時計関連」を選択することで表示されます。

オプション

判定設定 | 時計関連 | データ関連

① 2020/09/09 13:43:58

② 時刻設定

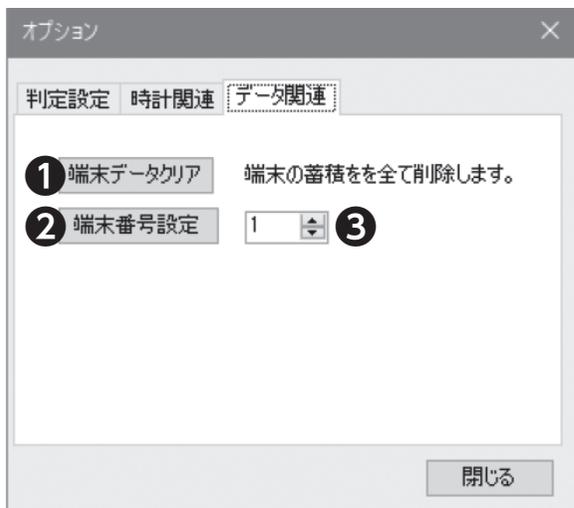
閉じる

### 3.3.1 画面説明

No.	説明
①	年・月・日・時・分・秒を設定します。
②	「時刻設定」ボタン 上記①の時刻をU550のRTCに設定します。

## 3.4 データ関連画面

メイン画面の「メニュー」→「オプション」を選択し、  
タブの「データ関連」を選択することで表示されます。



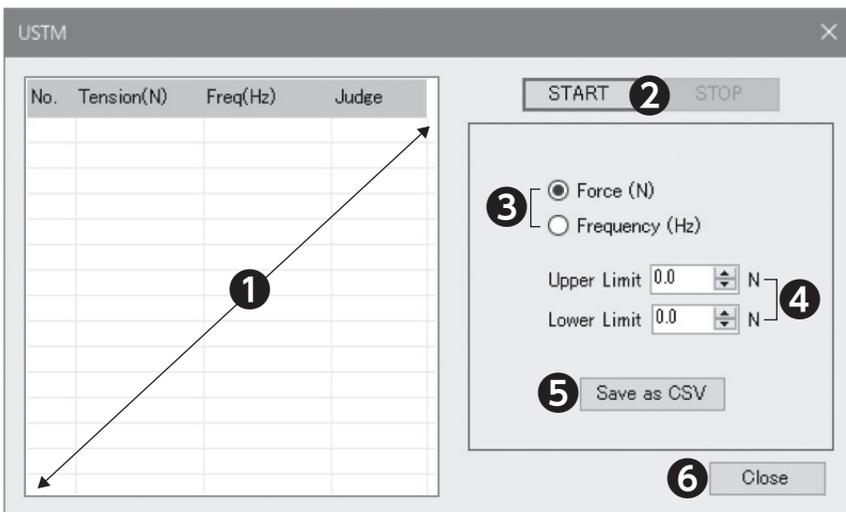
### 3.4.1 画面説明

No.	説明
①	「端末データクリア」ボタン U-550が保持している測定結果を全て削除します。
②	「端末番号設定」ボタン ③の端末番号をU-550に設定します。
③	端末番号 (1～255) を設定します。

## 4. USTM メイン画面

### 4.1 メイン画面

メイン画面の「USTM」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



#### 4.1.1 メイン画面説明

No.	説明
①	「測定結果エリア」 測定結果を表示する。表示内容についてはP.8(4.1.2)をご参照ください。
②	「START」/「STOP」ボタン 測定結果の取得を開始/停止します。
③	「Force」/「Frequency」ラジオボタン 測定結果の判定タイプを設定します。(Force=張力で判定 Frequency=周波数で判定)
④	「High Limit」/「Low Limit」テキストボックス 判定用の上下限值を設定します。(0.0 ~ 9999.0) HighとLowともに0.0であった場合、判定は行われません。 テキストボックス内が空であった場合は0.0とみなされます。
⑤	「Save as CSV」ボタン ①に表示されている内容をCSV形式のファイルに出力します。
⑥	「Close」ボタン USTMを終了する。終了するとU-550アプリケーション メイン画面に戻ります。

## 4.1.2 測定結果表示エリア説明

No.	データ番号(1からの連番)
Tension(N)	取得した張力値を表示します。
Freq(Hz)	取得した周波数を表示します。
Judeg	取得した測定値の判定結果を表示します。(GOOD / HIGH / LOW,----;判定なし)



## 5.1.2 パラメータ設定エリア説明

No. (CheckBox)	パラメータ番号(00~39) CheckBoxをチェックすると(名称、MASS)をプリセット値から選択出来ます。
カタログ名称	プリセット値の設定名称を選択します。
名称	任意の設定名称を設定します。
MASS	単位質量を設定します。
WIDTH	ベルト幅を設定します。
SPAN	軸間距離を設定します。
判定	測定結果の判定タイプを設定します。 (判定なし/張力/周波数)
上限値	判定時の上限値を設定します。
下限値	判定時の下限値を設定します。

# ゲイツ・ユニッタ・アジア株式会社

本社 〒556-0022 大阪市浪速区桜川4-4-26 TEL.06-6563-1284 FAX.06-6563-1285

ニッタグループ ▶ ニッタ | ゲイツ・ユニッタ・アジア | ニッタ・デュボン ◀

U-550APPL\_V01

2021年3月26日 1,000部 .D